

保存版

『津波から命を守るために!』

石巻市民津波避難計画
Ishinomaki
Tsunami Evacuation Plan
平成27年3月

本計画は、平成 23 年に発生した東日本大震災時の経験に基づいて、津波の危険性がある地域と避難場所、避難のために必要な事項などをまとめたものです。

みなさまが生活されている場所をご確認いただき、津波警報等が発表された際には、ただちに避難ができるように備えてください。

なお、平成 23 年東北地方太平洋沖地震の津波により浸水した区域を「津波避難対象地域」としています。

石巻市

●迅速な避難をお願いします。

●津波の襲来を完全に予測することは難しく、避難すべきか、すべきでないか即判断することは非常に困難です。

●大きな揺れの後に起こる津波の場合には、津波警報、避難指示等の伝達が津波の到達までに間に合わないことも考えられます。

●堤防が完成した後であっても、実際の津波の高さが堤防の高さを上回る可能性があります。

●徒歩で避難してください。

●東日本大震災では、交通渋滞が発生し多くの方が車内で被災されました。

●津波が来る前に、地震によって建物や電柱が倒壊したり陥没等で道路が遮断されることが考えられます。

裏面の地図の使い方

津波のおそれがある時は、できるだけ速く高い場所へ避難する必要があります。家族で逃げる場所を話し合って、以下の手順で、避難先や避難先までの道順(避難経路)を裏面の地図に記入しておきましょう。

裏面の地図には、東日本大震災の津波により浸水した範囲を示しています。

- 地図上で、自分の位置を確認する。
自分の位置(自宅、学校、勤務先など)を探して印をつけましょう。
- 避難先を確認する。
避難先は、裏面の地図に示しています。家族が使う避難先の位置と名称を確認してください。避難先には、避難生活避難所、津波避難ビルなどがあります。
(避難先の種類は、「津波からの避難先について」を参照)
- 避難経路を考える。
海や川の近くなどの危険箇所を避けて、上記の 2. で確認した避難先までの道順(避難経路)を考えてください。
- 津波への対応を話し合う。
家族やご近所で、「避難先」、「避難経路」、「避難時の危険箇所」の情報を共有してください。いざという時に協力することが重要です。
- 自分の目で確かめる。
地図上で確認した避難先や避難経路を、実際に歩いて、避難の際に注意すべきことや知っておくべきことを確認しましょう。
- 非常持出品を準備する。
「日頃からの災害の備え」、「非常持出品一覧(チェックリスト)」を参考に、避難する準備をしましょう。
- 「わが家の防災メモ」に記入する。
普段から、家族や知人の連絡先、避難先、避難時の注意箇所などを確認して記入しましょう。

津波からの避難先について

避難は、時間との闘いです!!
より速く! より高く!! 津波避難は、時間との闘いです。

できるだけ早く、高い場所へ!

津波用の避難施設には、このようなマークが貼られています。

地震発生!

津波の到達時間

間に合わないときは、近くの高い建物へ!!

津波浸水想定区域(津波浸水の危険性がある区域)

津波浸水の危険性が低い区域

情報を受けたら・・・

津波避難タワー

津波避難ビル

緊急一時避難所

避難目標地点

津波避難場所

避難生活避難所

津波の危険性がある地域のマークです。

注) 学校については、地震・津波被害の程度等、安全性が確認されてから「避難生活を送るための避難所」として継続して使用できる場合もあります。

災害の危険が去った後、自宅等が損壊している際には、避難生活避難所へ移動します。

津波に関する情報の伝達について

津波に関する情報は、防災行政無線、石巻市災害情報メール配信サービス(事前登録が必要です。登録は下記をご覧ください。)、エリアメールでお知らせします。

メール配信サービスに登録するか、ラジオなどを活用して、情報を入手するようにお願い致します。

■石巻市災害情報メール配信サービスの登録について

登録方法

以下の手順で、登録します。

①下記の登録用アドレスへ、空メールを送信(複数登録可)

②1 分以内に登録確認用のメールが届く

③そのまま、返信

④登録通知のメールが届けば、完了

《地区毎の登録用アドレス一覧》

本庁地区: is1-entry@my.e-msg.jp

河北地区: is2-entry@my.e-msg.jp

雄勝地区: is3-entry@my.e-msg.jp

河南地区: is4-entry@my.e-msg.jp

桃生地区: is5-entry@my.e-msg.jp

北上地区: is6-entry@my.e-msg.jp

牡鹿地区: is7-entry@my.e-msg.jp

■災害情報テレホンサービス(通話料有料)について

緊急的な防災行政無線広報と同じ内容を電話で聞くことができます。(ただし、「火災情報」を除きます。火災情報は「0180-992-911」です。)

0180-992-506(きんきゅうにコール)

※一部の IP 電話などからは繋がりません。

■石巻市防災ラジオについて(販売)

防災行政無線から流れる Jアラートの津波情報や避難勧告等の緊急放送が流れます。

※緊急放送は、FM ラジオ石巻の放送を活用して放送します。

※緊急放送時は、ラジオが自動起動します。

※防災ラジオに関するお問い合わせ先: 総務部防災推進課 0225-95-1111 (代表)

ご注意ください

防災行政無線やメール配信サービスは、災害発生時に必ず提供できるとは限りません。

強い地震、または弱くても長い時間の揺れを感じたら、津波警報や避難指示を待つことなく、直ちに避難しましょう。

日頃からの災害の備え

非常持出品一覧(チェックリスト)

災害時に備え、非常食・飲料水、貴重品、救急医療品、懐中電灯などを各自で準備しましょう。非常持出品は各ご家庭によって異なりますので、家族で良く話しあって揃えましょう。

■非常持出品(例)

携帯ラジオ

懐中電灯

ティッシュペーパー

ナイフ・缶切り

毛布又は寝袋

予備の乾電池

マッチ・ライター

現金(硬貨も)

スプーン・はし・カップ

タオル

医薬品・常備薬

防災頭巾・ヘルメット

非常食(3日分)

ビニール袋

下着・靴下

筆記用具・ノート

雨具

飲料水

リュックサック

手袋

生理用品

■あると便利なもの(東日本大震災のときに、役に立ったリスト)

◆飲料水(砂糖の少ない飲料: 甘いとのどが渇きやすい)

◆医薬品等(とげ抜き、目薬など)、お薬手帳

◆赤ちゃんのいる家庭ではミルク、ほ乳瓶、紙おむつなど

◆日用品

☐ 入れ歯、老眼鏡(代替が難しい)

☐ ウエットティッシュ(止血、洗浄など)

☐ 油性ペン(連絡、伝言など)

☐ 粘着テープ(散乱ガラス除去など)

☐ ビニールシート(防寒、防水など)

☐ キッチン用ラップ(止血、防寒など)

☐ ごみ袋

☐ スリッパ、洗面用具

☐ 使い捨てカイロ

☐ カセットコンロ

☐ 紙コップ、紙皿

☐ 予備の眼鏡

地震だ! ~強い揺れを感じたら

“強い揺れを感じたら”

●屋内では、頭を保護し、丈夫な机の下などで身の安全を確保しましょう。

●屋外では、ブロック塀の倒壊、看板や割れたガラスの落下などに注意しましょう。

“揺れがおさまったら”(津波からの避難が第一優先です。)

●テレビやラジオで情報収集に努めましょう。

特に津波の情報(大津波警報、津波警報、津波注意報)を確認し、避難の準備をしましょう。

“避難するときには”

●高齢者や障がい者の避難を支援するとともに、まだ避難していない人や避難所が分からない人に声をかけましょう。

●応急手当は最小限にとどめ、できるだけ早く、高い場所へ避難しましょう。

“目の不自由な人がいたら”

●まずは、何をしたいかを尋ね、それに応じた手伝いをしましょう。

“耳や言葉の不自由な人がいたら”

●話すときは、口を大きく動かし、はっきり話しましょう。

“肢体の不自由な人がいたら”

●それぞれの人に適した誘導方法を確認し、早めの避難を心がけましょう。

“妊産婦や乳幼児、がいたら”

●困っていることがないか声をかけ、避難所まで一緒に行動しましょう。

津波警報と避難指示等の関係					
分 類	発表する津波の高さ		石巻市からの指示等	発令時期	期待する行動
	数値表現	定性的表現			
大津波警報	10m超	巨大	避難指示(緊急)	自動的	避難対象地域にいる人は直ちに安全な場所に避難する。
	10m				
	5m				
津波警報	3m	高い			
津波注意報	1m	(なし)	注意喚起		海の中にいる人は直ちに海から上がって、海浜、河口、港湾等から離れる。